



感染者の動向

累計感染者数 1,204,520人

累計死者	累計回復者	新規感染 (週平均)	新規感染 傾向
26,720人	1,086,785人	3,602人/日	減少

9月12日現在（出所：国家保健サービス規制調整省）



日本・海外からの入国制限

日本人の入国 可

外務省感染症危険情報

レベル3：渡航は止めてください。

制限措置・入境後の隔離措置等の概要

- パキスタン航空当局（CAA）は8月6日、SOPを変更。日本を含む全入国者は出発前72時間以内のRT-PCR検査を義務化。6歳以上が対象。8月9日発効。入国後抗原検査を実施（6歳以上）。陽性の場合、州政府施設が指定する隔離施設に収容（自己負担）、8日後再検査。陰性の場合の10日間の自己検疫義務は継続。
- Pass Track（アプリカウエブ版）への登録は必須。
- イスラマバードではアフガニスタンからの退避者により、ホテルが予約しづらくなっている。

入国制限措置については[外務省海外安全ホームページ](#)を参照。



行動・活動制限の状況

以下のURLを参照。

https://www.jetro.go.jp/world/covid-19/asia/#page_01



空港再開／直行便

空港 オープン

航空便

- カタール航空はドーハ経由成田行週7便。
- エミレーツ航空はドバイ経由成田行週1便。
- PIAはイスラマバード・北京経由成田行運休。
- スリランカ航空はコロンボ経由成田行運休。

その他

- CAAは9月3日、10月1日以降、2回のコロナワクチン接種を済ませた17歳以上の乗客のみ、国際線・国際線に搭乗できるとするガイドラインを発表。



現地政府による主な経済対策

主要経済指標

郷里送金 (21年8月、10億 ドル、前年同期 比)	普通乗用車販売 (21年7～8月、 前年同期比)	外貨準備高 (2020-21年度 末、10億ドル、前 年同期比)
2.66、26.7%増	92.8%増	24.4、29.2%増

新規の経済対策・政策・決定

概要

- 国家指揮運用センター（NCOC）は、15～17歳のワクチン接種を9月13日から開始すると決定。（Dawn紙9月12日）

その他の経済対策および事業者支援策等は以下のURLを参照。

https://www.jetro.go.jp/world/covid-19/asia/#page_pk



経済活動の状況

経済活動制限

現状の制限や規制

- シンド州政府は8月29日、NCOCの決定を受け、カラチとハイデラバードにつき、9月1日から15日まで規制強化。
- オフィスは通常勤務時間で勤務可、出勤者は50%まで。
- 飲食店室内飲食は不可、屋外は午後10時まで。
- 商店・市場の営業は午後8時まで。金・日曜日は閉鎖（ハイデラバードは金・土曜日）。
- 室内のあらゆる集会は禁止。屋外は300人を上限。
- 室内ジムはワクチン接種済みの者のみ。

企業活動における状況と課題

日系企業

- 日系企業は、コンテナ確保、海上運賃高騰、船便の遅れに直面している。解消のめど立たず。
- 日本人駐在員の多くはワクチン接種終了。
- ベッド占有率
- 【カラチ】アガカーン大学45%、サウスシティ27%、ジャウディン72.5%。
- 【ラホール】マヨ53%、ナショナル37%。
- 【イスラマバード】PIMS50%、Shifa50%（シンド、パンジャブは州政府資料、イスラマは聞き取り9月12日時点）

経済動向、現地・第三国企業

- 「2021年度の強いV字回復はより高く包摂的で持続可能な経済成長の基盤となった。22年度も、政府の成長重視の政策で経済回復兆候が続く」
- 大規模製造業（生産）は、20年度の9.8%減に対し21年度は14.9%の成長。
- CPIは21年7月に、前年同月比9.3%増加。
- 対内直接投資は、21年7月は89.9百万ドル（前年同月比30.1%減）であった。（以上、財務省、8月31日発表）